

令和元年度 行政評価表:市民図書館

【Plan】計画 / 【Do】実施																	【Check】評価 / 【Action】改善														
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)									事業評価の成果指標(目標・実績)						H30年度		R1年度		事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)					
			指標名等			H30年度			R1年度			指標名等			H30年度			R1年度			決算額(千円)	予算額(千円)	決算額(千円)	成果向上余地はあるか	評価の理由	コスト削減余地はあるか	評価の理由	1次評価(担当者評価)		2次評価	
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由								R3年度予算要求の方向性	所属長評価		
生涯学習の推進	図書館資料収集事業	・幅広い資料を収集し、貸出などにより住民に提供することと合わせて、図書館の資料によって課題を解決するための支援を行う。	新刊案内発行回数	回	23	24	104%	23	24	104%	図書館利用者カード登録率	%	71	79	111%	72	82	114%	17,997	18,000	17,996	中	継続的な資料の購入により、豊富かつ新鮮な資料を揃えて、蔵書を構築していることから市民の利用も多く、さらに新規利用者の数も伸びてきている。	なし	資料の収集はコストに直結しており、これ以上の削減は大幅な利用減少を招き、困難である。	改善	42万点を超える資料を揃え、テーマ展示を行ったり、予約・リクエストに応えたりして資料を市民に提供していくことで、図書館の役割を十分に果たしている。	継続して資料を購入することで、組織的な資料群の構築が成されている。しかし、2階、3階の書架の余裕が無くなっており、丁寧に取捨選択を行いながら資料の構築を行う。	改善	市民の課題解決に役立つ資料を収集・提供することにより、生涯学習の拠点としての役割を果たしている。バランスのとれた蔵書構成を構築するための検討と作業も行っている。	
生涯学習の推進	ブックスタート事業	・生後3ヶ月を迎えた赤ちゃんとその保護者に対して、3ヶ月児健診の折、当事業の趣旨を説明して絵本を渡し、ボランティアによる絵本の読み語り(読み聞かせ)を行う。 ・配布物は絵本(令和元年度から1冊に変更)、絵本リスト、図書館利用案内、利用申込書。	赤ちゃん絵本の配布冊数	冊	515	870	169%	471	394	84%	ブックスタート参加率	%	99	99	100%	99	100	101%	533	299	299	低	3ヶ月児健診と同一日程、同一会場でブックスタートを実施していることから、参加率が100%と非常に高い。	なし	絵本を2冊配っていたのを1冊に減らしたことから、絵本を選ぶことが難しくなり、選ぶ時間が伸びている。しかし、保護者の反応は相変わらず良い。事業費は絵本とリストの購入費のみであり、これ以上の削減は困難である。	改善	これまで継続してきたことで事業の認知度が高まっており、市民からの寄附も増えている。事業のコスト面を改善しながら維持することが必要である。	近年、新生児の数と共に、3ヶ月児健診の受診者も減っている。そんな状況であるが、配布する絵本の数を減らし、経費を減らしても、ブックスタートを継続させ、親子のコミュニケーションのきっかけを作る。	改善	参加率100%の実績を上げているアウトリーチ事業であり、家庭での読書のきっかけ作りと共に、子どもの読書活動推進の効果も期待できる。コスト削減の中で事業の継続性を担保する工夫を要する。	
生涯学習の推進	家読推進事業	・「家族ふれあい読書」を主として、読書の推進を図り、家族のコミュニケーションを深める。 ・家読を啓発し、市内各地区で家庭・学校・地域それぞれ連携した取り組みができるよう図書館から支援する。	家読フェスティバル開催地区数	回	5	3	60%	5	2	40%	家読フェスティバル参加者数	人	200	587	294%	200	250	125%	762	272	189	中	家読フェスティバルは4ヶ所で予定されていたが、黒川、大坪は新型コロナのため中止となり、2ヶ所での開催となった。しかし、両会場とも工夫を凝らし、大勢の参加者で盛り上がった。	なし	家読の推進を継続するために、講演会や図書館を使った調べ学習コンクールを実施することから、一定のコストは必要である。	改善	市民への家読の普及を図るためには、うちどく推進講演会など事業全体の継続及び活性化が必要である。	経費を必要最小限に抑えつつ効果を高められるように、内容の見直しを行いながら家読の推進に取り組む。	改善	講演会などによる家読の普及・拡大と調べる学習コンクールによる質的な深まりを同時に展開しており、全国入賞などの成果も表れている。全市的な取り組みとするためには、各地区との連携強化が課題である。	